経ヶ岬通信所だより

No. 10

近畿中部防衛局広報誌

2022

防衛省
MINISTRY OF DEFENSE

☞地域住民の方々の安全・安心の確保に取り組んでいます

○安全・安心対策連絡会で通信所における隊舎への入居に係る状況等を説明

近畿中部防衛局は昨年１２月２日（木）、第２９回となる米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会を開催し、隊舎への入居に係る状況や発電機の土日・夜間稼働、水質調査及び藻場分布状況の確認（３ページを参照）等について、京都府や京丹後市、地域住民代表の方々に説明を行いました。

隊舎への入居については、米軍経ヶ岬通信所のエリオット司令官が挨拶の中で、「入居の時期について、各種基準のチェックや食堂施設の準備もほぼ整った。既に物品等を隊舎に徐々に移動し始めており近々兵隊が隊舎へ入居する見込みである。」と述べました。

発電機の稼働については、緊急メンテナンス及び商用電力供給に関わる機器の部品交換が必要となり商用電力が安定的に使用できなくなったことに伴い、この間の通信所の運用を維持するため１１月５日から１７日までの間、土日・夜間を含め発電機を稼働せざるを得ない状況となりました。

当局としても、京都府及び京丹後市からの申入れを踏まえ、米側に対しやむを得ない事情があるにせよ、地元への影響が最小限にとどまるよう作業の早期完了等を要請し、現地連絡所職員による日々の現地確認等を実施したところであり、今後も米側に対して可能な限り土日・夜間の稼働は控えるよう求める旨を説明しました。

※本連絡会の配布資料については、当局ホームページに掲載しております。

第２９回安全・安心対策連絡会の開催

第１４ミサイル防衛中隊長からの挨拶

近畿中部防衛局からの説明

京丹後市副市長からのご意見

○通信所周辺海域の水質調査及び藻場分布状況の確認結果について

（※第２９回安全・安心対策連絡会で説明）

米軍経ヶ岬通信所内で発生する汚水については、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地と同様に浄化槽で処理の上、海側に排出しています。

近畿中部防衛局では、通信所からの排出水による海の環境への影響を確認するため、排出開始前後において、水質調査（船上から海水を採取し分析）及び藻場分布状況の確認（海藻草類の生育状況の確認）を実施することとしています。

今回、排出開始後１回目の調査等として昨年７月１日（木）及び２日（金）に実施した調査等については、排出水による特段の影響は確認されませんでした。

○水質調査

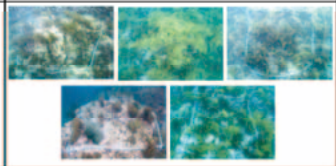
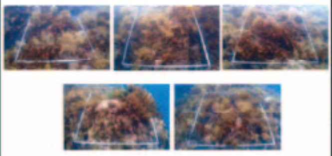
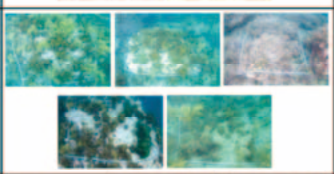
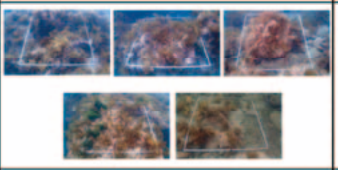
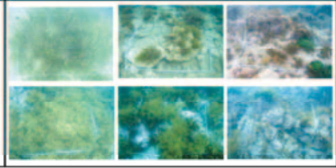
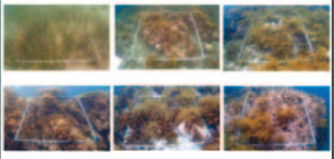
調査項目	環境基準値	令和２年度（R2.6.27　排出開始前）			令和３年度（R3.7.2　排出開始後）		
		尾和	袖志西側	袖志東側	尾和	袖志西側	袖志東側
pH	7.8~8.3	8.0	8.1	8.1	8.0	8.1	8.1
BOD (mg/L)	2以下 (※1)	1.6	1.7	1.6	0.6	0.7	1.3
COD (mg/L)	2以下	1.2	1.1	1.1	1.5	1.4	1.7
SS (mg/L)	25以下 (※1)	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出
DO (mg/L)	7.5以上	7.1	7.5	7.5	7.6	8.5	8.3
大腸菌 (MPN/100mL)	1,000以下	33	23	23	13	13	23
n-ヘキサン	検出されないこと。	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
全窒素 (mg/L)	0.3以下 (※2)	0.12	0.16	0.15	0.13	0.12	0.12
全燐 (mg/L)	0.03以下 (※2)	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.008

注１　環境基準値は、生活環境の保全に関する環境基準（海域）のA類型を示す。
　２　不検出とは、定量下限値未満をいう（定量下限値：SS1mg/L、n-ヘキサン0.5mg/L）。

※１　BOD、SSについては、河川基準のA類型を準用している（海域については定めがない）。
　２　全窒素、全燐については、海域基準のⅡ類型を準用している（通信所周辺海域は類型指定されていない）。

8

○藻場分布状況

	令和２年度（R2.6.26-27　排出開始前）	令和３年度（R3.7.1-2　排出開始後）	主な藻場構成種
確認エリア１ No.1～5			・ワカメ ・クロメ ・ノコギリモク ・マメタワラ ・ヤナギモク ・エンドウモク 特段の変化なし
確認エリア２ No.6～10			・ワカメ ・クロメ ・ジョロモク ・イソモク ・ヤツマタモク ・マメタワラ ・ヤナギモク ・エビアマモ 特段の変化なし
確認エリア３ No.11～16			・ワカメ ・クロメ ・ホンダワラ ・マメタワラ ・トゲモク ・ヤツマタモク ・ヤナギモク ・アマモ 特段の変化なし

9

▲　連絡会において配付した説明資料（抜粋）

☞通信所ニュース

○海岸清掃を実施

京丹後市網野町小浜の車両が進入できない奥まった場所に“ 水晶浜 ”はあります。

その名の通り、砂に水晶が含まれる浜で、かつては地元の方の“ 秘密の浜 ”でした。

しかし、近年他の砂浜と同じようにゴミが大量に漂着し、かつての美しい姿は失われつつあります。

危機感を抱いた地元の方々は、旅館業を営む守山倫明氏らが発起人となり自然環境を保護する活動を立ち上げ、それに賛同する地域の観光業のメンバーやその海岸でサーフィンを楽しむ人たちが続々と参加しました。

その一人、京丹後市地域おこし協力隊の八隅孝治さんは旗振り役を買って出て地元の有志と“ 水晶浜大作戦 ”を企画し、毎年海岸清掃を行っています。

「この海岸清掃は子供たちに美しい浜を残さなければならないという皆さんの熱い思いから始まりました。」と八隅さんは語ります。

米陸軍経ヶ岬通信所のメンバーも地元の美しい資源を守るためにボランティアとして海岸清掃に参加しました。

参加したバセット先任曹長は、「たくさんのゴミがあり、またそれを運び出さないといけないのでとても大変でした。でも地域の一員として活動できて誇りに思い、兵隊たちもこのような機会があれば喜んで参加します。」と話しました。

今回の清掃には米陸軍兵士だけではなく、パートナーである航空自衛隊第３５警戒隊のメンバーも２０名近く参加しました。

「米軍がボランティア活動にたくさん参加されていることを知り、一緒に活動したいと思いました。地域に貢献することは自分たちにとっても非常に重要なことです。」と第３５警戒隊山本准空尉は語りました。

「海岸清掃後、砂浜は綺麗になりました。でも明日嵐が来ればまた元に戻ってしまいます。キリが無いかもしれませんが、今日プラスチックゴミを一つ拾うことによって、他の砂浜に漂着することを防ぐことができるかもしれません。或いは生き物が誤ってプラスチックを飲み込んで苦しむことを防ぐことができるかもしれません。無駄なことは何一つないと信じています。」と八隅さんは語りました。

“ 水晶浜大作戦 ”は地元有志数十名から始まりましたが、今回ついに参加者が１００名を超えました。

【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。https://www.facebook.com/14MDB/】

○ハロウィンイベントの開催

米陸軍経ヶ岬通信所第１４ミサイル防衛中隊と京丹後市国際交流協会は１０月３０日京丹後市峰山町の旧丹波小学校にてハロウィンイベントを開催しました。

約５０名の子供たち、保護者の皆様、経ヶ岬通信所の関係者、京丹後市、航空自衛隊第３５警戒隊、近畿中部防衛局や地域からのボランティアスタッフらが参加しました。

子供たちは思い思いの衣装に身を包みながら、「お化け屋敷」、「ゾンビブラスター」、「マミーボーリング」、「トリックオアトリート」といったステーションを楽しみました。

「新型コロナウイルスの流行というかつてない大きな問題がある中ではありますが、今回地域の皆様と規模を縮小しながらも、ハロウィンのイベントを開催出来てとても嬉しく思います。」と話すのは第１４ミサイル防衛中隊長エリオット少佐です。
「私たちもこのイベントを非常に楽しみにしながら一生懸命準備をしてきました。 子供たちが喜ぶ顔を見ることが一番幸せな瞬間です。」と笑顔で語りました。

イベントを共催した京丹後市国際交流協会の麻田事務局長は次のように話しました。
「コロナ禍ということで入場人数に制限を設けたり体温チェックや各ステーションでの手指消毒等対策を取りながら、２年ぶりのイベントが開催できて良かったです。
米陸軍経ヶ岬通信所とは京丹後市が掲げる " 多文化共生 " を実現するために、今後もクリスマスやイースターなど皆さんに喜んでもらえるイベントを開催していきたいと思っているので楽しみにしていてください。」

子供たちは「トリックオアトリート！」と元気よく声を出しながらたくさんのキャンデーをもらったり、アメリカの本場のお化け屋敷に声を出して泣いたり、異文化を満喫する一日となりました。

○米軍人等に対する交通安全講習会を開催

近畿中部防衛局と京丹後警察署は、昨年１１月８日（月）、京丹後網野町の網野自動車教習所にご協力頂き、米軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象とした交通安全講習会を開催しました。今回の講習会では、万全な新型コロナウイルス感染症対策のもとで、これから本格的な降雪期を迎えることを踏まえ特に冬季の運転において注意を要する事項に重点を置いた座学講義や、人工降雪機を使用した積雪路の走行などの実車講習を行いました。

○米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。

【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話　０６－６９４５－４９６４　／　０６－６９４５－５３８１（夜間及び休日）

■ ご意見・ご感想等 ■

本誌についての皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

（住所）
〒５４０－０００８
大阪市中央区大手前４丁目 1-67
近畿中部防衛局
広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）
TEL　06-6945-4953
FAX　06-6910-5669
（メールアドレス）
goiken@ext.kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI　CHUBU
2022 年　経ヶ岬通信所だより（通算第 75 号）
令和４年２月発行
近畿中部防衛局
広報編集委員会
TEL　06-6945-4953
URL　https://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。